

平成 2 8 事業年度

決 算 報 告 書

自：平成 2 8 年 4 月 1 日

至：平成 2 9 年 3 月 3 1 日

国立大学法人九州大学

平成28年度 決算報告書

国立大学法人九州大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	41,666	42,798	1,132	(注1)
うち補正予算による追加	—	25	25	
施設整備費補助金	11,224	8,940	△2,283	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	6,776	5,525	△1,250	(注3)
うち補正予算による追加	—	203	203	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	107	73	△34	
自己収入	51,231	57,465	6,233	
授業料、入学料及び検定料収入	10,320	10,326	6	
附属病院収入	40,229	43,891	3,662	(注4)
財産処分収入	20	1,467	1,447	(注5)
雑収入	662	1,779	1,117	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	15,849	17,279	1,430	(注7)
引当金取崩	161	245	85	(注8)
長期借入金収入	12,602	12,491	△110	(注9)
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	210	210	(注10)
計	139,617	145,030	5,413	
支出				
業務費	87,988	90,913	2,925	(注11)
教育研究経費	47,259	47,429	170	
うち授業料免除枠	—	24	24	
うち設備災害復旧関係	—	1	1	
診療経費	40,729	43,484	2,755	
施設整備費	23,933	21,109	△2,823	(注12)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	6,776	5,382	△1,393	(注13)
うち火山活動評価高度化・火山研究				
人材育成のための観測・解析システム	—	103	103	
うち洗浄消毒・滅菌装置	—	100	100	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	15,849	16,910	1,061	(注14)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	5,070	4,984	△85	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	139,617	139,301	△315	
収入－支出	—	5,729	5,729	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金等が交付されたことにより、予算額に比して決算額が 1,132 百万円多額となっています。
- (注2) 事業の一部を翌年度へ繰越したこと等により予算額に比して決算額が 2,283 百万円少額となっています。
- (注3) 予算段階で見込んでいた国からの補助金等の獲得減により、予算額に比して決算額が 1,250 百万円少額となっています。
- (注4) 診療実績の増加等により、予算額に比して決算額が 3,662 百万円多額となっています。
- (注5) 箱崎地区土地売却の計画時期等の変更に伴い、予算額に比して決算額が 1,447 百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階では予定していなかった施設使用料の増収等により、予算額に比して決算額が 1,117 百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が 1,430 百万円多額となっています。
- (注8) 賞与引当金対象者の増加等により、予算額に比して決算額が 85 百万円多額となっています。
- (注9) 契約努力に伴う事業費の一部削減や事業の一部繰越等により、予算額に比して決算額が 110 百万円少額となっています。
- (注10) 予算段階において確定していなかった前中期繰越積立金の取り崩しにより、予算額に比して決算額が 210 百万円多額となっています。
- (注11) 予算段階において予定していなかった補正予算の配分等により、教育研究費の決算額が 170 百万円多額となっています。また、診療実績の増加に伴い診療経費が増加したことにより、予算額に比して決算額が 2,755 百万円多額となっています。
- (注12) (注2)に示した理由、及び民間借入事業分の繰越等により、予算額に比して決算額が 2,823 百万円少額となっています。
- (注13) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が 1,393 百万円少額となっています。
- (注14) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が 1,061 百万円多額となっています。